

平成 30 年度（2018 年度）事業計画書

自 平成 30 年（2018 年）4 月 1 日
至 平成 31 年（2019 年）3 月 31 日

PMF 2018 概要

- (1) 開催期間 2018 年 7 月 7 日（土）～8 月 1 日（水） 26 日間
(2) 開催地 札幌市、苫小牧市、函館市、奈井江町、広島市、東京都
(3) 公演数 約 40 公演
(4) 参加アーティスト

芸術監督 フレリー・ゲルギエフ
首席指揮者 ジョン・アクセルロッド
客演指揮者 エドウィン・アウトウォーター
指揮者 クリスチャン・ナップ
原田 慶太楼
ダニエル・マツカワ

PMF オーケストラ共演ソリスト

五嶋 みどり（ヴァイオリン）
リナート・シャハム（メゾソプラノ）
アンドリュー・タイソン（ピアノ）
デニス・ブリアコフ（フルート／PMFアメリカ）
ユージン・イゾトフ（オーボエ／PMFアメリカ）

ゲストアーティスト 天羽 明恵（司会／ソプラノ）＜GALA＞
マルタン・グレゴリウス（オルガン）＜GALA＞
九嶋 香奈枝（司会／ソプラノ）＜リンクアップ・コンサート＞
穴澤 彩佳（ソプラノ）＜リンクアップ・コンサート＞
岡元 敦司（バリトン）＜リンクアップ・コンサート＞

オーケストラ PMF オーケストラ
札幌交響楽団（PMF ホストシティ・オーケストラ）

教授陣 (*はPMF初参加を表す)

◆ヴォーカル・アカデミー教授

ガブリエツラ・トゥッチ (ソプラノ)

◆PMFヨーロッパ (会期前半)

ヴァイオリン	ライナー・キュッヒル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)
ヴァイオリン	ダニエル・フロシャウアー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
ヴィオラ	ハインツ・コル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
チェロ	ロベルト・ノージュ (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
コントラバス	ミヒヤエル・ブラーデラー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
フルート	アンドレアス・ブラウ (前ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
オーボエ	ジョナサン・ケリー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
クラリネット	アレクサンダー・バーダー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ファゴット	シュテファン・シュヴァイゲルト (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ホルン	サラ・ウィリス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トランペット	タマーシュ・ヴェレンツェイ (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トロンボーン	イエスパー・ブスク・ソレンセン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ティンパニ	ライナー・ゼーガス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ハープ	アンネレーン・レナエルツ* (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)

◆PMFアメリカ (会期後半)

ヴァイオリン	デイヴィッド・チャン (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
ヴァイオリン	ステイーヴン・ローズ (クリーヴランド管弦楽団)
ヴィオラ	ダニエル・フォスター (ワシントン・ナショナル交響楽団)
チェロ	ラファエル・フィゲロア (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
コントラバス	アレクサンダー・ハンナ (シカゴ交響楽団)
フルート	デニス・ブリアコフ (ロサンゼルス・フィルハーモニック)
オーボエ	ユージン・イゾトフ (サンフランシスコ交響楽団)
クラリネット	ステイーヴン・ウィリアムソン (シカゴ交響楽団)
ファゴット	ダニエル・マツカワ (フィラデルフィア管弦楽団)
ホルン	ウィリアム・カバレロ (ピッツバーグ交響楽団)
トランペット	マーク J. イノウエ (サンフランシスコ交響楽団)
トロンボーン	デンソン・ポール・ポラード (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
パーカッション	デイヴィッド・ハーバート (シカゴ交響楽団)
ハープ	安楽 真理子 (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)

◆PMFピアニスト 佐久間 晃子
岩渕 慶子

アカデミー PMF オーケストラ・アカデミー
PMF ヴォーカル・アカデミー

PMF 2018 アカデミー教育

(1) オーディション

インターネットのオーディション専用ポータルサイトを利用したレコーディングオーディションを実施し、合計で66カ国・地域から1,190名の参加があった。

(2) アカデミー教育

① オーケストラ・アカデミー (98名)

PMF創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を引き続き実施する。芸術監督ワレリー・ゲルギエフや首席指揮者ジョン・アクセルロッド、客演指揮者エドウィン・アウトウォーターが指揮するほか、PMFヨーロッパ、PMFアメリカの教授陣がアカデミーの指導にあたり、2018年は主に3つのオーケストラプログラム(A、B、C)の教育を行う。コンサートツアーを含め10回のオーケストラ演奏会のほか、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を発表する。

② ヴォーカル・アカデミー (4名)

ローマ出身のソプラノ歌手ガブリエツラ・トゥッチから、オペラアリア、歌曲を中心に演奏・表現・発声・発語の指導を受け、教育の成果をPMF GALAコンサートとピクニックコンサートで発表する。

PMF 2018 演奏会

○2018 年はPMF創設者レナード・バーンスタイン生誕 100 年であり、以下の記念事業に取り組む。

- ・PMF 2018 では、全てのPMFオーケストラ演奏会にバーンスタインが作曲した作品を取り上げる。特に、プログラムBは全てバーンスタインの作品で構成。
- ・第1回の1990年以來となる世界的ヴァイオリニスト五嶋みどりとPMFオーケストラの共演で、バーンスタインの指揮によりPMFで演奏した「セレナード」を再演する。
- ・マーラー作品を世界に広めることに大きく貢献したバーンスタインにちなみ、PMF 2018 の集大成として芸術監督ゲルギエフの指揮の下、「交響曲 第7番」にPMFオーケストラが取り組む。さらに、例年の東京公演のほか、バーンスタインが1985年に訪れ、平和への思いを込めた「広島平和コンサート」を開催した都市、広島にて19年ぶりにPMFオーケストラ演奏会を実施する。

○4年ぶりにPMFホストシティ・オーケストラとして札幌交響楽団による演奏会を開催する。

○上記を含めたPMF 2018の主なコンサートスケジュールは次のとおり。

- ・7月7日(土) PMF 2018 オープニング・コンサート (札幌芸術の森・野外ステージ)
バーンスタイン:「キャンディード」序曲
チャイコフスキー:「眠りの森の美女」組曲 作品66a
バーンスタイン:「ウエストサイド・ストーリー」序曲 ほか
- ・7月9日(月) PMF ウィーン演奏会 (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・7月10日(火) PMF ベルリン演奏会 (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・7月11日(水) PMF アンサンブル奈井江公演 (奈井江町文化ホール)
- ・7月12日(木) PMF ウィーン演奏会 (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・7月13日(金) PMF ベルリン演奏会 (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・7月14日(土) PMF オーケストラ苫小牧公演 (苫小牧市民会館)
～チャイコフスキー没後125年に寄せて～
バーンスタイン:交響曲 第1番「エレミア」
マーラー:リュッケルトの詩による歌
チャイコフスキー:交響曲 第4番 へ短調 作品36
- ・7月15日(日) PMF オーケストラ演奏会 プログラムA (札幌コンサートホール Kitara)
～チャイコフスキー没後125年に寄せて～
- ・7月18日(水) PMF リンクアップ・コンサート (札幌コンサートホール Kitara)

- ・7月20日（金） PMFアメリカ演奏会（札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール）
- ・7月21日（土） PMFオーケストラ演奏会 プログラムB（札幌コンサートホール *Kitara*）
～バーンスタインの世界～
<オール・バーンスタイン・プログラム>
バレエ音楽「ファンシー・フリー」
セレナード（プラトンの『饗宴』による）
交響曲 第2番「不安の時代」
- ・7月22日（日） PMFオーケストラ演奏会 プログラムB（札幌コンサートホール *Kitara*）
～バーンスタインの世界～
- ・7月23日（月） PMFアンサンブル函館公演（函館市芸術ホール）
PMFホストシティ・オーケストラ演奏会（札幌コンサートホール *Kitara*）
- ・7月28日（土） ピクニックコンサート（PMFオーケストラほか）（札幌芸術の森・野外ステージ）
- ・7月29日（日） PMF GALAコンサート（プログラムCほか）（札幌コンサートホール *Kitara*）
～ゲルギエフ、マーラーを振る～
モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314（285d）
バーンスタイン：ハリル
マーラー：交響曲 第7番 ホ短調
- ・7月31日（火） PMFオーケストラ広島公演（広島国際会議場 フェニックスホール）
～ゲルギエフ、マーラーを振る～
- ・8月1日（水） PMFオーケストラ東京公演（サントリーホール）
～ゲルギエフ、マーラーを振る～

音楽普及のための取り組み

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。

2018年度は、これまで実施してきた青少年教育プログラムであるリンクアップ・コンサートやPMF吹奏楽セミナーなどに加え、PMF公開マスタークラス、ユース・ウイング席の設置などにより、若い世代への取り組みを一層充実させる。

(1) PMFリンクアップ・コンサート

アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールとの連携により、PMF 2013において日本で初めて実施した、小学生向けの音楽教育プログラム。子どもたちが歌やリコーダー演奏でPMFオーケストラと共演する機会を設け、これまでにない一流の音楽との出会いの場を提供する。札幌市内の小学校6年生児童約600名が参加予定。

(2) オープンリハーサル

札幌コンサートホール Kitara 等で行われる PMF オーケストラのゲネプロ（本番前の全体練習）とリハーサル、ヴォーカル・アカデミーの指導風景を一般に公開する。定員は 1 回につき 100 名。

(3) PMF 教育セミナー

音楽に関心を持つ人を対象として、バーンスタインの長女ジェイミー・バーンスタイン氏と前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのライナー・キュッヒル氏により、バーンスタインを題材とした講演を開催する。

(4) PMF 吹奏楽セミナー

札幌市内及び近郊の中学校・高等学校の吹奏楽部を対象（予定）とし、PMF 教授陣である北米メジャー・オーケストラの奏者が直接指導を行うという、最高レベルの教育の場を提供する。

(5) PMF 公開マスタークラス

アカデミー生を指導する PMF 教授陣が、北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導し、その様子を一般に公開する。ヴァイオリン、フルート、オーボエ、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、木管五重奏、ピアノ三重奏計 5 日 10 講座を予定。

(6) ユース・ウイング席の設置、U25 割引の導入

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から 25 歳（1993 年生まれ）までの若い世代に、札幌コンサートホール Kitara で開催するオーケストラ 4 公演において、オーケストラを一望できる「ユース・ウイング席」を無料で提供する制度を新設する。

また、昨年まで学生を対象としていたチケット割引を U25 割引に拡大（ピクニックコンサートは芝生席無料）し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供する。

(7) 修了生によるミニ・コンサート

会期外において PMF 事業の露出を高めるため、メインスポンサーの協力を得て多くの集客を望めるショッピングモールなどでミニ・コンサートを開催する。また、札幌市の主催するプロジェクト「学校 DE カルチャー」に参加し、小学校において、修了生によるミニ・コンサートを開催する。